

ステンドグラスの

ブックリスト

※資料は貸出中の場合があります

初めてのステンドグラス

『明治・大正・昭和の名品—日本のステンドグラス—』 増田彰久写真 田辺千代文
白揚社 2013年10月刊

欧米とは違った日本のステンドグラスの美しさ、大切さが伝わってくる一冊です。小川三知と宇野澤辰雄から育った多くの日本人による名品を紹介するほか、新たに発見された小川三知の作品も収録しています。

『ステンドグラス文化図鑑』

ヴァージニア・チェッフォ・ラガン メアリ・クラーク・ヒギンス共著
別宮貞則監訳 東洋書林 2005年7月刊

三百数十点の美しい図版によって、世界中のステンドグラスを紹介した本。その起源から現代までの制作技術の歴史をたどり、地域や時代ごとの特徴を解説するという構成になっており、ステンドグラス芸術の全体像が分かります。

『日本のガラス』土屋良雄著 藤森武写真 紫紅社 1987年7月刊

色鮮やかな図版で、日本のガラス製品を成形法や装飾法別に紹介した図録です。図版の詳細な解説とともに、「日本のガラス小史」と「日本のガラス年表」が理解を助けてくれます。

『歴史に見る日本の色』中江克己著 PHP 研究所 2007年12月刊

原始から江戸時代まで、時代を象徴する色や好まれた色にまつわるエピソードによって、日本人の色彩感覚の変遷をたどる本です。吉野ヶ里のガラス製管玉など美しい古代ガラスの色について述べている箇所もあります。

その他にも図書館にはたくさんの資料があります。

他館の資料や貸出中の資料は予約をすることがで

きます。どうぞご利用ください！

